

## RITSUMEIKAN KOKUSAI KENKYU

The Ritsumeikan Journal of International Studies

Vol. 29 No. 1

June 2016

## CONTENTS

## ARTICLES

- The Mysterious Charm of *go* and the Characteristic of the "Big 4"  
(China, South Korea, Japan and AI) KA, Go  
KA, Hyo 1
- The Future of the South in a Globalizing World MATSUSHITA, Kiyoshi 45
- On the Financing of the U.S. Current Account Deficit in 2014~15 OKUDA, Hiroshi 75
- A Study of the Transition of "Symbol" Concerning Nationalism in Modern Korea:  
The Independence Arch after the end of the Independence Club KIM, Yong Chan 101
- The Korean-Chinese Migration to Shenzhen and  
the Formation of the Ethnic Community NAN, Yugiong 131
- NOTE**
- Dual Managerial Strategy of Overseas Production and  
Reshoring in Japan's Manufacturing Industry SEKISHITA, Minoru 155

Published by

ISARU

The International Studies Association

of

RITSUMEIKAN UNIVERSITY

Ritsumeikan University, 56-1 Tojiin-Kitamachi, Kita-ku, Kyoto 603-8577 Japan

Phone : (075) 465 - 1267 Fax : (075) 465 - 1277

## 立命館国際研究

29 卷 1 号

(通巻 99 号)

目次

## 論 説

- 囲碁の「酷」と人智の「魔」  
——究極の頭脳競技の原理と中・韓・日・人工<sup>A</sup>智能<sup>I</sup>  
4強の特質・行方(1)……………夏剛・夏冰…(1)
- グローバルな世界における<サウス>のゆくえ(上)……………松下冽…(45)
- 原油価格の低落と中国のドル準備の減少の中での対米ファイナンス  
——国際マネーフローの変容についての覚書——……………奥田宏司…(75)
- 近代朝鮮におけるナショナリズムと「シンボル」の変遷に関する一考察  
——独立協会の解散以後の独立門をめぐって——……………金容賛…(101)
- 朝鮮族の深圳市への移動とエスニック・コミュニティの形成……………南玉瓊…(131)

## 研究ノート

- 岐路に立つ日本製造業の複合戦略  
——知財化・現地化・国内回帰の狭間での苦闘を診る——……………関下稔…(155)

2016年6月

立命館大学国際関係学会

## 立命館大学国際関係学会会則

第1条 (名称) 本会は、立命館大学国際関係学会という。

第2条 (目的) 本会は、国際関係に関連する学術の研究と普及を目的とする。

第3条 (事業) 本会は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1 機関紙「立命館国際研究」の編集と発行
- 2 研究補助
- 3 研究会、講演会の開催
- 4 その他前各号に関する事業

第4条 (会員)

(1) 本会は次の会員を持って組織する。

- 1 本学国際関係学部 に所属する教授・准教授・講師・助教
- 2 本学大学院国際関係学研究科前期課程院生
- 3 本学大学院国際関係学研究科後期課程院生
- 4 本学国際関係学部生
- 5 常任委員会において承認を得たもの

(2) 第1号会員の会員は教員部会、第2号および第3号の会員は院生部会、第4号の会員は学生部会を構成する。

第5条 (総会)

(1) 通常総会は、毎年1回、常任委員会の招集によりこれを開催し、常任委員会より事業活動及び事業方針の報告を受け、監査委員より会計監査の報告を受ける。臨時総会は、必要に応じて常任委員会の招集によりこれを開催する。

(2) 総会において決議を要するときは、出席した会員の過半数をもって決する。

(3) 委任状または代理人による議決権行使は認められない。

第6条 (役員)

(1) 本会に次の役員をおく。

- |        |    |        |    |
|--------|----|--------|----|
| 1 会長   | 1名 | 4 幹事   | 1名 |
| 2 副会長  | 1名 | 5 監査委員 | 3名 |
| 3 常任委員 | 5名 |        |    |

(2) 会長は、本学国際関係学部所属の専任教員より選出する。会長は本会を代表し会務を統括する。

(3) 副会長は本学国際関係学部所属の専任教員より選出する。副会長は会長を補佐し、常任委員会を主催して会務の運営にあたる。

(4) 常任委員は教員部会の会員より2名、院生部会の会員より1名、及び学生部会の会員より2名を選出する。常任委員会は副会長および全ての常任委員によって構成する。

(5) 幹事は、本学国際関係学部事務長とする。幹事は、会長の指揮に従い本会の日常業務の執行を補佐するものとする。

(6) 監査委員は、教員部会の会員より1名、同条第2号院生部会の会員より1名、および学生部会の会員より1名を選出する。監査委員は、本会の会計を監査し、監査の結果を総会に報告しなければならない。

第7条 (事業の執行) 常任委員会は本会の業務を執行する。常任理事会は各年度の事業方針及び予算案を総会に報告しなければならない。また、前年度の事業内容及び決算について、監査委員会の承認を得てこれを総会に報告しなければならない。

第8条 (経費) 本会の経費は、会費、補助金及び寄付金をもってこれにあてる。

第9条 (会費)

(1) 本会の会費は次の通りとする。

- |             |     |         |
|-------------|-----|---------|
| 1 第4条第1号の会員 | 年額  | 12,000円 |
| 2 第4条第2号の会員 | 半年額 | 4,000円  |
| 3 第4条第3号の会員 | 半年額 | 4,000円  |
| 4 第4条第4号の会員 | 半年額 | 4,000円  |
| 5 第4条第5号の会員 | 年額  | 8,000円  |

第10条 (会計年度) 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

第11条 (会則の変更) 会則の変更は常任委員会の発議により、総会の承認を得なければならない。変更された会則は、総会の承認を得た時点で発効する。

附 則

1992年度より会員に大学院国際関係研究科院生を加える。

附 則 (2000年7月4日会員の追加による改正)

この会則は、2000年7月4日から施行する。

附 則 (2011年5月10日会員及び会費の見直し、評議委員会の廃止にともなう改正)

この会則は、2011年5月10日から施行する。

附 則 (2012年1月24日会費徴収方法の変更に伴う改正)

この会則は、2012年4月1日から施行する。

## 編集後記

大変久しぶりに紀要編集の仕事をする事になりました。この文章を執筆中の5月下旬の京都は好天続きで、清々しい青空が広がるのですが、大学教員の研究活動を取り巻く状況はもう何年も曇天続きというところでしょうか。人文社会系研究成果の主な公表媒体は、国内学会誌、国際査読誌、和文出版物、欧文出版物など様々な形がありますが、認知されやすい媒体に掲載されやすいような、あるいは商業的に出版されやすいような研究成果だけを追い求めるならば、研究活動がその進むべき方向をゆがめられ、全体として視野が狭まってしまうのは間違いないでしょう。それに対して大学が刊行する各種研究紀要は、その定期性と継続性という点で、間違いなく日本における人文社会系学術活動を支える幅広い裾野です。『立命館国際関係研究』も29巻目にはいりました。今後も末永く刊行され続けるべく、編集作業に協力させていただければと思います。

(益田 実)

### 立命館大学国際関係学会会員 (教員)

(アルファベット順)

足立研幾	南野泰義	DE ANTONI,
安高啓朗	三井久美子	Andrea
クロス京子	宮口貴彰	FRENCH,
福海さやか	森岡真史	Thomas William
△原毅彦	中川涼司	HATCHER,
林大祐	中本真生子	Pascale Laura
廣野美和	中戸祐夫	HAYES,
本名純	中西達啓	Blake Elaine
星野郁	西村智朗	KOGA BROWES,
五十嵐優子	大田英明	Scott Philammon
池田淑子	大島堅一	KUNSCHAK,
板木雅彦	大山真司	Claudia
岩田拓夫	佐伯沙羅	MOUSOURAKIS,
井澤友美	佐伯千鶴	George
夏剛	末近浩太	ÓMÓCHAIN,
河村律子	高橋伸邦	Robert
川村仁子	龍澤丸	RAJKAL,
金東彦	山下範	Zsombor Tibor
◎君島東昌		△ TAILLANDIER,
○益田実		Denis
松田正文		
南川文里		

◎印 会長    ○印 副会長    △印 常任委員

### 立命館国際研究 29巻1号 (通巻99号)

2016年6月19日発行

編 集 行 立 命 館 大 学 国 際 関 係 学 会

代 表 君 島 東 彦

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

T E L (075) 465-1267

F A X (075) 465-1277

印刷所 株 式 会 社 図 書 同 朋 舎

〒600-8805 京都市下京区中堂寺鍵田町 2